

公益社団法人 日本重症心身障害福祉協会

平成28年度 事業報告書

1. 公益社団法人としての事業推進

公益社団法人日本重症心身障害福祉協会として、重症心身障害児者の福祉の向上に関する事業を行い、その家庭の福祉の増進に寄与することを目的として、公益事業を始めとした各事業の推進を図った。

さらに、重症心身障害児者に対する新たな福祉ニーズへの対応が求められていることから、施設利用者だけでなく在宅の重症心身障害児者及びその家族に対する支援の充実を一層推進した。

また、平成30年度の診療報酬改定及び障害福祉サービス等報酬改定に向けて、各施設における状況の把握及び諸課題への組織的な取り組みを図った。

2. 諸会議の開催

当協会の事業について、重要案件を審議し執行するため、次の会議を開催した。

(1) 総会（定時総会）

平成28年5月19日（木） 大阪府大阪市

(2) 理事会

第1回 平成28年4月24日（日） 東京都中央区

第2回 平成28年7月17日（日） 東京都中央区

第3回 平成29年3月16日（木） 東京都中央区

(3) 各種委員会の開催

次の各委員会を開催した。

① 医療問題検討委員会

平成29年2月12日（日） 東京都中央区

② 福祉問題検討委員会

入所支援部会・在宅支援部会・実態調査部会

合同部会 平成29年2月12日（日） 東京都中央区

③ 学術委員会

第1回 平成28年5月20日（金） 大阪府大阪市

第2回 平成28年7月18日（月） 大阪府大阪市

第3回 平成28年10月13日（木） 熊本県熊本市

④ 人材育成・研修委員会 専門看護師部会

第1回 平成28年5月19日（木） 大阪府大阪市

第2回 平成28年8月24日～30日（メール会議）

第3回 平成28年10月13日（木）、14日（金） 熊本県熊本市

第4回 平成28年11月30日(水)、12月1日(木) 東京都港区
特別委員会(医療事故調査制度)

第1回 平成28年4月24日(日) 東京都中央区

第2回 平成28年12月18日(日) 東京都中央区

第3回 平成29年3月16日(木) 東京都中央区

3. 日本重症心身障害福祉協会全国施設協議会等の開催

①全国施設協議会

日本重症心身障害福祉協会全国施設協議会を厚生労働省、大阪府、大阪市の後援を得て平成28年5月19日(木)、20日(金)の2日間、大阪府大阪市において開催した。

本会議は重症心身障害児者の療育に関する調査研究並びに施設の運営上の諸問題及び従事職員の研修等について協議を行い、重症心身障害児者の療育の向上を図ることを目的に開催しており、全国123の重症児者施設から、重症心身障害児者施設の長、事務(局・部)長及び総看護師長等並びに行政機関の担当者401名が参加した。

第1日目は、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 障害福祉課 障害児・発達障害者支援室 障害福祉専門官 田中真衣氏による「障害児支援」についての行政説明、当協会理事長 木実谷哲史による「今後の日本重症心身障害福祉協会の課題」の説明、緊急協議課題として「災害とどう向き合うか」をテーマに「くまもと江津湖療育センター」より状況報告及び過去の阪神・淡路大震災、新潟中越地震、東日本大震災において緊急支援等に携わった方々からの報告を基に協議が行われた。

第2日目は、「これからの挑戦」をテーマに在宅支援や療養介護の課題などについてのシンポジウムが行われた。

また、当協会各委員会からの活動報告及び東・西日本施設協議会からの報告が行われた。

②東・西日本施設協議会

第43回東日本施設協議会を平成28年11月10日(木)、11日(金)の2日間、神奈川県横浜市において開催し、東日本の58施設146名が参加した。

また、第37回西日本施設協議会を平成28年11月17日(木)、18日(金)の2日間、大分県大分市において開催し、西日本の62施設215名が参加した。

本会議は、東・西日本ブロックにおける重症心身障害児者施設の運営上の諸問題及び重症心身障害児者の療育に関する情報交換等の協議を行い、重症心身障害児者の療育の向上を図ることを目的に開催した。

4. 重症心身障害児者施策への対応

今後の診療報酬改定及び障害福祉サービス等報酬改定に対応するため、医療問題

検討委員会及び福祉問題検討委員会の連携の下に重症心身障害児者施設における諸課題等への対応を図った。

5. 全国重症心身障害児者施設職員研修会の実施

重症心身障害児者施設に勤務する職員をはじめとする研修対象者に、次の日程により研修を行い、その資質の向上を図った。

なお、看護師コース、栄養士・調理師コース、医療技術管理コース、保育士・児童指導員等（療育職員）コース及び施設管理研究会コースについては、財団法人JKAの競輪公益資金補助事業として実施した。

(1) 看護師コース

平成28年9月14日(水)～16日(金) 大阪府大阪市 参加者131名

(2) 栄養士・調理師コース

平成28年9月28日(水)～30日(金) 大阪府大阪市 参加者137名

(3) 医療技術管理コース

平成28年11月23日(水)～25日(金) 大阪府大阪市 参加者170名

(4) 看護管理研究会コース

平成28年11月30日(水)～12月2日(金)

東京都港区 参加者134名

(5) 保育士・児童指導員等（療育職員）コース

平成28年12月7日(水)～9日(金) 大阪府大阪市 参加者131名

(6) 施設管理研究会コース

平成29年1月25日(水)～27日(金) 大阪府大阪市 参加者212名

6. 第27回重症心身障害療育学会学術集会の開催

重症児施設療育研究大会を平成17年度から重症心身障害療育学会に改めて開催している。第27回重症心身障害療育学会学術集会を厚生労働省、熊本県、読売光と愛の事業団等の後援を得て、平成28年10月13日(木)、14日(金)の2日間、熊本県熊本市において開催し、83題の演題であった。

また、参加者は2日間で443名であった。

7. 在宅重症心身障害児者の支援者育成事業

平成26年度に開発した在宅重症心身障害児者の支援者を育成するためのプログラムの周知及び活用を図った。

8. 重症心身障害児者施設永年勤続者の表彰

重症心身障害児者施設に勤務する10年以上の永年勤続者を表彰した。

平成28年度の永年勤続者は502名であり、定時総会時に行う永年勤続者表彰式で81名の参加者を表彰した。

9. 日本重症心身障害福祉協会認定重症心身障害看護師制度の充実と認定重症心身障害看護師合格者の認定証の授与

平成24年度から重症心身障害看護の質の向上、認知度のアップ、看護師の確保と育成に繋げ、重症心身障害児者とその関係者に適切な看護を提供し、重症心身障害児者のより良い生活・生涯に寄与することを目的として、日本重症心身障害福祉協会認定重症心身障害看護師制度を実施し認定重症心身障害看護師合格者に認定書を授与してきたところであり、今後とも制度の充実を図る。

平成28年度の認定者数は84名であった。

なお、平成28年度末からは5年を経過する者を対象に認定更新審査を実施した。

10. 全国重症心身障害児者施設実態調査の実施

本調査は、公法人立の施設の入所児（者）を対象とし、療育の向上に資するため、毎年実施しているが、平成28年4月1日現在等での施設等の実態を調査した。

また、個人チェックリストについては、平成27年度分から簡素化を図り新たな調査内容として集計・管理のためのプログラム開発を行い、平成28年度は2か年度分の調査を実施した。

11. 超重症児（者）、準超重症児（者）の実態調査の実施

平成28年度においても、超重症児（者）及び準超重症児（者）の実態調査を例年に準じ実施した。

12. 関係機関及び関係団体との連絡、連携の強化

関係機関との連携を密にして円滑な協会運営を図った。また、関係団体相互の連絡を密にして重症心身障害児者の療育に関する理解を深めて、相互の連携強化を図った。

特に、独立行政法人国立病院機構国立重症心身障害協議会と連携を図るため平成28年度6月19日に連絡会議を開催し、今後とも継続的に開催することとした。

13. 広報紙の発行

広報紙「重症児とともに」を発行し、関係者及び関係機関等へ配布した。

また、平成28年度からは紙媒体での配布とともにホームページへの掲載を実施した。